

## 〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、13～19℃台を示し、やや低めの水温でした。

## 〔漁況概要〕

- 中小型まき網—西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり11トンの水揚げで、前週の1.2倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり0.4トンの水揚げで、前週の20%（前年を下回った）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり20トンの水揚げで、前週の2倍（前年を上回った）。
- イカ釣—スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり118kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.8トンの水揚げで、前週24%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり1kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり112kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。
- 定置網—五島有川地区では、ブリなどが1日1統当たり234kgの水揚げ。五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり674kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり80kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり50kgの水揚げ。
- 一本釣—北松宇久地区では、イサキが1日当たり453kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。

## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（3/10～3/14の5日間）沖合イカ釣（船凍船）は、切揚中。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～能登半島沖～佐渡沖で操業。鳥取県西部（沖合船）3日延12隻、総計1,183箱、1航海最高210箱、平均98.6箱。スルメイカを漁獲、魚体は20～30入。

（漁業情報サービスセンターより）

## 〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>